

国土交通省東北地方整備局 能代河川国道事務所

秋田試験施工報告書

2020.8.25～26

出席者 能代河川国道事務所 阿部様、菅原技官
秋田土建株式会社 森岡様ほか 6 名
有限会社ハリカ大館 田中社長
アベ燃料 阿部代表
株式会社エコロクス 中村部長
株式会社ナニワプロジェクト 土山殿
(報道機関) 北鹿新聞社、大館ケーブルテレビ

9 月 7 日

一般社団法人 ナチュラル・エージ技術協会

作成者: 齋藤与司二

1.国土交通省による試験施工の狙い

- ・能代河川国道事務所では、斜面の草刈の軽減をはじめ、除草剤等が使えない高速道路のり面等があり苦慮している。このような中で、維持管理費の軽減と安心安全な工法を模索していたところ、秋田新聞に掲載されたI L工法に着目され、試験施工を実施し、適用の可否を見極めたいとのことで、この度、試験実施の運びとなった。
- ・特に、高速道路の防風(防風雪)柵のクズ処理については、景観はもとより、近隣からの苦情もあり、I L工法に期待を寄せている。

2.試験先日のデモ(8/25) 秋田土建殿による事前確認

- ・エンジンの点検、重曹の攪拌、デモの実施



慣れている秋田土建のスタッフ

3.本試験(8/26)

(1) 平地…機械草刈りと I L 工法との比較試験



視察者



小型ノズル



大型ノズル

※小型ノズルと大型ノズルでの取り扱いやすさ、作業の容易性、効率性、雑草への生育抑制の効果などについても確認した。

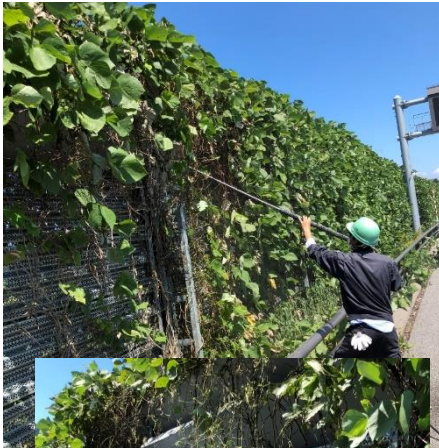


試験前



試験後

(2) 高速道路…防風雪柵でのクズ処理試験



① クズの枝葉から主要茎部をはじめ、景観面から全体を防除するケース



② クズの主要茎部をノズルで切断し、枝葉が枯れるのを待つケース

4.試験施工後の意見交換

- ・能代河川国道事務所の担当官としては、生態系にも影響が少ないことは、非常に興味があり、近隣対策としてはポイントが高い。
- ・斜面の雑草防除については、本当に苦慮している⇒草刈りとの併用を図ることをお勧めした。
- ・クズ処理については、地下茎の茎根にダメージを与えると効果は絶大であり、フェンス廻りの場合は探り当てするのに苦慮するが、ここを抑えて処理するとコストは低減できると推察される。
- ・クズの根絶に向けて根気より継続した、中日本 J Hでの試験データからも効果が出ている。

以 上